

佐藤シズエさんと岸さちこさん 二人合わせて150歳の親子展

町内で永年書道塾を経営していた佐藤シズエさんと次女の岸さちこさん（伊達市在住）が、2月7日～18日まで役場ロビーで、「親子展 2人で150歳 - 」を開きました。

現在入院中の母親の米寿を記念して催したもので、佐藤さんが「噴火の山」「八十歳の出発」など11点。岸さんが「噴火する山」「月の砂漠」など10点、合わせて21点が展示され、多くの来場者の目を釘付けにしました。

展示後岸さんから、ご自分の「噴火する山」（ヨコ5㍍×タテ87㍍）と母親の「噴火の山」（ヨコ168㍍×タテ8㍍）の2点が町に寄贈されました。



自作の「噴火の山」を網島教育長に渡す岸さん(左)

2月27日、町や北海道地方環境事務所などが主催して、洞爺湖周辺の生態



洞爺湖周辺の生態系について学ぶ参加者

系について学ぶ「2011 洞爺湖生物多様性フォーラム-洞爺湖の生命と環境について考える-」が、町民ら約40人が参加して、洞爺湖文化センターで開かれました。

酪農学園大学の学生などが、洞爺湖の環境調査や中島でのエゾシカ調査を報告。そのほかウチダザリガニの防除活動や湖内の水草についても報告を受けました。

最後に吉田剛士同学園准教授が「研究成果を地域に還元し、町づくりに役立てていけるようにしたい」と挨拶し、終了しました。

研究成果を町づくりにいかす 洞爺湖周辺的环境について考えるフォーラム

2月27日、第23回昭和新山国際雪合戦（同実行委員会、壮瞥町主催）の準



昨年に続き準優勝を勝ち取ったAS・SC

決勝リーグと決勝トーナメントが昭和新山山麓で行われ、町内から参加したAS・SC小林由紀監督が昨年に続き準優勝しました。

決勝トーナメントには、準決勝を勝ち抜いた16チームが参加。2年連続センターコートに臨んだ同チームは、優勝を目指して熱戦を展開しましたが、1セットずつ取って迎えた第3セットを奪われ、惜しくも1対2で敗れました。

菅原孝明代表は「優勝にあと1歩。来年こそ優勝したい」と悔しさをにじませていました。優秀選手賞に同チームの安藤真司さんが選ばれました。

昭和新山雪合戦 一般の部 AS・SC 昨年に続き準優勝

税をテーマにしたポスター募集 洞爺中宮本さん道知事賞入選受賞

第25回全道中学生の税をテーマにしたポスター募集で、洞爺中学校の宮本采佳さん（2年）が北海道知事賞入選に選ばれました。

3月7日同校で伝達式があり、胆振総合振興局の佐藤課税課長から表彰状が授与されました。

北海道が、中学生に暮らしの中で活かされている「税」に対する関心を持ち、理解を深めてもらう目的で始めているもので、全道17校4,880点が寄せられました。

宮本さんは「まさか入選すると思わなかったのがびっくりしました」と喜びを語りました。



賞状を手に満面の笑みをたたえる宮本さん(右)

